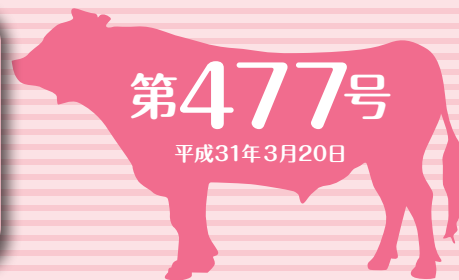


畜産茨城

第477号

平成31年3月20日



目次

お雛様オムライス	平成31年1月市況	6
こども料理教室開催される	平成31年度の肉用子牛の保証基準価格の改定について	6
2018年、国内での豚コレラの発生について	平成31年2月市況	7
飼料用米と豆腐粕の混合サイレージの給与試験について	牛マルキン発動状況	7
水田における子実用トウモロコシ栽培技術の確立～技術体系化チームの取組～	平成30年度茨城県自給飼料コンクール表彰式開催される	8

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／佐野 治

お雛様オムライス こども料理教室開催される



茨城県養鶏協会青年部は、オムライスを親子で作るという体験を通じてたまごの正しい知識、おいしい料理法を学んでいただき、たまごのことをもっと好きになって欲しいという想いで、平成31年3月3日は桃の節句の日、小学校低学年を対象にポケットファームときどき牛久店でオムライスこども料理教室を開催しました。

教室には、竜ヶ崎市、つくばみらい市の親子24組48名が参加しました。講師に野菜ソムリエの山

崎真理子さんを迎え、雛祭りにちなんで「お雛様オムライス」の簡単で美味しい作り方を披露していただいたあと、テーブルをまわって親子のオムライスづくりをサポートしていただきました。

子どもたちは、薄焼きたまごの着物をまとい海苔や蒲鉾を使って飾りつけたカラフルでかわいいお雛様に大喜び！自分で作ったお雛様オムライスをどこから食べようかな？と考えながら美味しく食べていました。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています

2018年、国内での豚コレラの発生について

茨城県県北家畜保健衛生所

豚コレラとは

豚コレラは、豚コレラウイルスの感染でおこる豚、イノシシの熱性伝染病です。

症状は、ウイルスの病原性により異なります。病原性が強い場合は、致死率が非常に高く、高熱、耳翼、下腹部、四肢等の紫斑、白血球の減少が認められます。慢性に経過する場合は、発熱、下痢、皮膚炎、白血球の減少が認められ、胎子が感染した場合は、流産や異常産などが起こります。

しかし、このような症状は、その他の感染症でもみられることから、豚コレラは特徴的な症状がありません。ただ、このような症状が通常以上の頻度で見られたり、複数頭の豚が症状を出していれば豚コレラが疑われます。

豚コレラウイルスは、感染豚の唾液、涙、糞尿中に排出され、感染豚や汚染物品等との接触により感染が拡大していきます。治療法はありません。

豚コレラは、人に感染することはありません。感染豚の肉や内臓を食べても人体に影響はありません。感染豚が市場に出回ることもありません。

発生の概要

2018年9月9日、岐阜県の養豚場で、我が国では26年ぶりに豚コレラの発生が確認されました。誰もが1例目の発生農場で、ウイルスを封じ込め、粛々と防疫措置が行われ終息を迎えると考えていたと思います。

しかし、発生から5か月が経過した2019年2月現在、養豚場での発生は、5府県33農場にのぼっています。

また、1例目の発生から5日後の9月14日、岐阜県で野生の死亡イノシシから豚コレラウイルスが検出されました。

2018年の分離ウイルスは、農研機構動物衛生研究部門の感染試験で、豚に臨床症状を引き起こすものの、その病原性は強毒株よりも低い

ことが確認されました。病原性が低いウイルスの野生イノシシへの感染は、野生イノシシでの豚コレラの終息の長期化が懸念されます。

2019年2月22日現在、野生イノシシへの感染は、岐阜県で180頭、愛知県で8頭が確認されていますが、岐阜県、愛知県以外の都道府県で野生イノシシの陽性事例は確認されていません。

また、2018年分離ウイルスは、近年、中国やモンゴル等で分離されたウイルスと近縁であること、野生イノシシから分離されたウイルスと養豚場で分離されたウイルスは、遺伝的に同一であることが明らかになっています。

我が国への豚コレラウイルスの侵入は、発生の観光客等が持ち込む感染豚の肉や肉製品等が考えられます。2018年8月3日、アジア地域で初めて中国でアフリカ豚コレラ※の発生が確認され、そして、10月以降、13例、空港で中国の旅行者の携帯品の豚肉ソーセージ等からアフリカ豚コレラウイルスの遺伝子が検出されていることから、ウイルスが発生国から持ち込まれることは十分あり得ることなのです。

養豚場への豚コレラウイルスの侵入ルートは、まだ明らかになっていませんが、違法に持ち込まれた豚肉等がゴミとして行楽地等で廃棄され、それを食べた野生イノシシが感染し、感染した野生イノシシ等の野生動物との接触や他の感染農場からの人や車両等を介して養豚場に持ち込まれた可能性が考えられます。

茨城県の対応

茨城県は、昨年8月、中国でアフリカ豚コレラが確認されて以降、県内の養豚農家や県内畜産関係団体に対し、豚コレラ等の発生状況の情報提供と異常豚の早期発見・早期通報の徹底などの注意喚起を逐次行っています。

また、豚コレラ清浄性維持確認のための調査として、県内の養豚場(348戸)で年間60戸を抽出し、1戸あたり10頭の豚コレラウイルス抗

体検査を実施し、陰性を確認しています。さらに、家畜保健衛生所に持ち込まれる豚の病性鑑定事例について、豚コレラの抗原検査、抗体検査を実施し、陰性を確認しています。

野生の死亡イノシシについては、2018年9月14日から豚コレラ感染確認検査を実施し、2019年2月21日現在、10頭の陰性を確認しています。

そして、家畜伝染病侵入防止の広報活動として、2019年2月8日に、茨城空港で中国人観光客に対し、畜産物の持ち込み禁止を呼びかけるリーフレットの配布を行いました。

最後に

今回の豚コレラの発生は、養豚場だけでなく野生イノシシの世界にも感染が広がっています。さらに、中国等の近隣諸国では、豚コレラ、アフリカ豚コレラが発生し、こうした脅威が迫る中、発生国からの肉製品等の持ち込み防止等、水際対策の強化とともに、養豚場では、野生動物等の侵入防止、消毒の励行等の徹底した飼養

衛生管理基準の遵守により農場のバイオセキュリティの強化をすすめる必要があります。

そして、通報の遅れは、家畜伝染病をまん延させる可能性が高まり、国内に侵入した際の発見の遅れにもつながることから、豚コレラ、アフリカ豚コレラについて農林水産大臣が指定する症状（「特定症状」）が示されることになりました。

豚飼養者の皆様は、毎日の飼養豚の健康チェックと特定症状を確認した場合は、直ちに家畜保健衛生所に通報をお願いします。

※アフリカ豚コレラについて

アフリカ豚コレラは、アフリカ豚コレラウイルスによる豚、イノシシの熱性出血性伝染病で、強い伝染性と高い致死率が特徴です。症状は、発熱、皮膚の出血、白血球の減少など豚コレラに酷似しますが、より病原性が強い傾向にあります。

これまで、日本での発生はありません。治療法もなく、ワクチン也没有ありません。

豚コレラ・アフリカ豚コレラの特定症状

家畜の種類	症状	対象とする家畜伝染病
豚及び いのしし	耳翼、下腹部又は四肢等に紫斑があること。	豚コレラ及び アフリカ豚コレラ
	同一の畜房内（一の畜房につき一の家畜を飼養している場合にあっては、同一の畜舎内）において、一定期間（概ね一週間程度）継続的に複数の家畜に以下の症状が拡大して認められること。ただし、当該農場に浸潤している他の疾病により当該症状が引き起こされていることが既に判明している場合等豚コレラ及びアフリカ豚コレラ以外の事情によるものであることが明らかな場合はこの限りでない。	
	（１）摂氏40度以上の発熱、元気消失、食欲減退 （２）便秘、下痢 （３）結膜炎（目やに） （４）歩行困難、後肢麻痺、けいれん （５）削瘦、被毛粗剛、発育不良（いわゆる「ひね豚」） （６）流死産等の異常産の発生 （７）血液凝固不全に起因した皮下出血、皮膚紅斑、天然孔からの出血、血便	
	同一の畜舎内において、一定期間（概ね一週間程度）に複数の繁殖豚又は肥育豚が突然死亡すること。ただし、家畜の飼養管理のための設備の故障、気温の急激な変化、火災、風水害その他の非常災害等豚コレラ及びアフリカ豚コレラ以外の事情によるものであることが明らかな場合は、この限りでない。	
	血液検査を実施した場合において、同一の畜房内（一の畜房につき一の家畜を飼養している場合にあっては、同一の畜舎内）において、複数の家畜に白血球数の減少（1万個未満/ μ l）又は好中球の核の左方移動が確認されること。ただし、当該農場に浸潤している他の疾病により当該結果が引き起こされていることが既に判明している場合等豚コレラ及びアフリカ豚コレラ以外の事情によるものであることが明らかな場合はこの限りでない。	

飼料用米と豆腐粕の混合サイレージの給与試験について

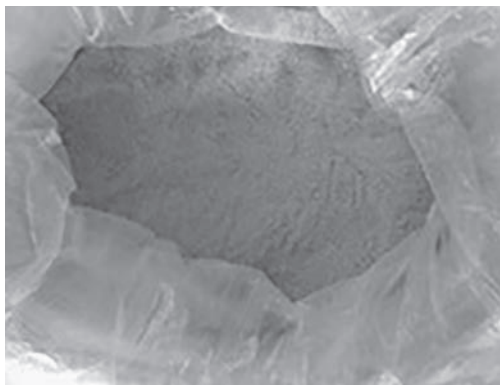
茨城県畜産センター 養豚研究所飼養技術研究室

○はじめに

肥育豚1頭当たりの生産費は、飼料費が6割以上を占めています。配合飼料の原料の多くは海外からの輸入に頼っているため、飼料価格は穀物の国際価格や為替レートの変動に大きく左右されてしまいます。そのため飼料自給率の向上や生産コストの低減は、安定した養豚経営を目指す上で非常に重要な課題です。当研究所では、国産飼料である飼料用米と地域の未利用資源である生豆腐粕を用いてサイレージとして調製し、肥育豚へ給与する試験を行いました。今回はその結果を紹介します。

○サイレージの調製

サイレージの原料は、2mmに粉碎した飼料用米(玄米)と生豆腐粕を重量比3:1としました。そこに、発酵を促進させるために乳酸菌を添加し、それらをミキサーで混合して保存容器に入れました。発酵期間は3か月以上としました。



飼料用米と豆腐粕混合サイレージ

○給与試験

【試験1】試験には、三元交雑種(WLD)の肥育後期の豚(約70kg~110kg)を用いました。試験区は、一般配合飼料に対し重量比で40%の混合サイレージを給与し、対照区には一般配合飼料のみを給与しました。それらの発育成績として1日平均増体重(kg/日)、肉質成績として、ロース部位の水分、保水力、クッキングロス、肉色、脂肪融点について調査し

ました。

その結果、1日平均増体重(kg/日)は、試験区で1.05kg、対照区で0.94kgとなり、有意な差は認められませんでした。また肉質について、試験区で保水力および外層脂肪の融点が高くなる傾向がみられました。

【試験2】三元交雑種(WLD)の離乳期から出荷までの豚(5週齢から110kg)に対し、20%の割合で混合サイレージを給与しました。対照区では一般配合飼料のみを給与しました。調査項目は、試験1と同様のものとしました。

その結果、肥育期(70kgから110kg)の1日平均増体重(kg/日)は、試験区0.95kg、対照区0.99kgで、有意な差は認められませんでした。肉質についても、試験区と対照区の間には差はみられませんでした。

【試験3】二元交雑種の繁殖母豚(WL)に対し、20%の割合で混合サイレージを給与しました。対照区では一般配合飼料のみを給与しました。それらの繁殖成績として、分娩頭数、離乳頭数、発情回帰日数を調査し、さらに分娩した子豚の発育成績を調査しました。

その結果、繁殖成績のすべての項目について、試験区と対照区の間には有意な差は認められず、子豚の発育についても試験区と対照区で同様の結果となりました。

○おわりに

本試験の結果から、肥育後期豚に飼料用米と豆腐粕の混合サイレージを40%まで給与しても発育への影響は見られず、肉質も低下しないことがわかりました。また、サイレージ飼料を子豚から給与した場合も、通常の飼料を給与した豚と同等の発育および肉質となりました。さらに、繁殖母豚への給与においても影響は見られませんでした。今回用いた混合サイレージは、豚の嗜好性も良く、通常の配合飼料の代替飼料として十分に利用可能であると考えられます。

水田における子実用トウモロコシ栽培技術の確立 ～技術体系化チームの取組～

茨城県農業総合センター専門技術指導員室 津田 和之

はじめに

トウモロコシなどの穀類は、国内で濃厚飼料として利用する約8割を海外からの輸入に依存しています。一方、国産濃厚自給飼料を増産する取り組みは約10年前から北海道で栽培が始まり、最近では本州でも試験的に行われております。

平成30年度における県内の子実用トウモロコシは、県西地域の大規模普通作経営体2戸と養豚農家1戸で栽培され、面積は合計で約4.5haとなりました。

農業総合センターでは、普及センターと研究所と連携して「水田における子実用トウモロコシ栽培の確立」に取り組みましたので、その内容を紹介します。

1 子実用トウモロコシの栽培について

子実用トウモロコシ栽培は、飼料として利用するトウモロコシの子実部分(写真1・2)のみを収穫、乾燥します。残りの茎や葉などの残さはほ場にすきこみます。



(写真1 収穫直前)



(写真2 収穫した子実)

県内の子実用トウモロコシの栽培体系では、4～6月末頃までに播種して、8月中旬～10月末頃までに収穫します。しかし、9月以降に収穫する場合は台風による折損で、収穫ロスが出ることが予想されますので、播種時期は4月末までに終えて、9月上旬までに収穫することが理想です。

播種後には、雑草や害虫対策を行う必要があります。特に子実用トウモロコシに対して登録されている農薬は少ないため、限られた種類の農薬を効率的に使用します。

2 子実用トウモロコシの収穫について

県西地域に設置した3か所の実証ほの結果

を見ると(表1)、境町の実証ほでは、4月28日に播種し、9月6日に収穫され、10aあたり717kgの収量が得られました。

筑西市や結城市の実証ほでは、前作に麦類を栽培している関係で播種時期が6月下旬、収穫時期が10月末となりました。9月末に日本に上陸した台風24号による強風の影響で、茎の折損や子実の落下の被害により、収量は10aあたり350～390kgとなりました。

表1 子実用トウモロコシ栽培実証ほの成績

栽培実証ほ所在市町と管轄普及センター名	境町 坂東地域農業改良普及センター	筑西市 県西農林事務所 経営・普及部門	結城市 結城地域農業改良普及センター
面積(a) ※ほ場合計面積	55a	150a	290a
播種日	4月28日	6月27日 6月28日	6月26日
開花日	6月30日	8月13日～16日	8月15日
収穫日	9月6日	10月31日	10月30日
品種	P1690	P1184 P9027	P1184
坪刈り収量(kg/10a)	990	551～594	867
実収(kg/10a)	717	356～394	380

3 子実用トウモロコシの収穫現地検討会

10月30日には県西農林事務所が結城市のほ場で、「国産子実用トウモロコシ



栽培技術の確立(写真3 収穫現地検討会の様子)

と利用拡大を目指すための収穫現地検討会」を開催し、生産者など70名の参加のもと、収穫の実演と課題の検討を行いました。

参加した畜産農家からは、国産の子実用トウモロコシの利用を考えたいとの声が聴かれました。

4 今後の方向

次年度は、県西地域で栽培技術実証を継続するとともに県内の気候にあった品種や播種時期などを検討した上で、複数品種を試験的に栽培していく予定です。

また、麦類と大豆の作付体系に輪作として子実用トウモロコシ栽培を取り入れることによる、土壌物理性の改善効果と、麦類と大豆の収量及び品質への影響を調査することを検討しています。

平成31年 1 月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
9	一般子豚	21	14,364	14,364	14,364	50
	ベビー豚	230	15,336	3,564	13,058	35
23	一般子豚	29	16,740	13,608	15,433	50
	ベビー豚	216	16,092	2,592	14,388	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	75	861,840	363,960	670,910	280	2,400
		♂	0					
		計	108	1,102,680	611,280	842,630	315	2,672
	F1	♀	183	1,102,680	363,960	772,253	301	2,568
		♂	11	908,280	268,920	519,676	—	—
		計	0					

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
11	入場頭数	7	0	0	0	8	11		0
	成立頭数	5				3	1		
	最高(円)	51,840				75,600	64,800		
	最低(円)	43,200				50,760	64,800		
	平均(円)	47,304				64,080	64,800		

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	30	840,240	376,920	656,280	258	2,543
		♂	0					
		計	37	1,114,560	233,280	773,222	291	2,658
			67	1,114,560	233,280	720,859	276	2,610

食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉：毎週月曜日、木曜日			
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数	
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均
豚	12,217.0	80.4	438	446	424	383	313	404
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)
和牛	A 151	173	480.2	2,801	2,535	2,290	1,466	2,548
	B 12			2,513	2,246	1,796	1,129	
	C 10			—	—	—	950	
乳牛	A —	170	321.3	—	—	—	—	527
	B 13			—	—	—	645	
	C 157			—	—	—	601	
交雑牛	A 16	92	492.4	—	1,916	1,684	1,598	1,560
	B 61			1,996	1,793	1,580	1,343	
	C 15			—	—	1,543	1,225	

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 15, 19, 25, 29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	6	153,360	11,880	96,840
		♂	158	162,000	1,080	113,824
		計	164	162,000	1,080	113,202
	子牛	♀	1	162,000	162,000	162,000
		♂	0			
		計	1	162,000	162,000	162,000
F1	スモール	♀	66	280,800	33,480	203,367
		♂	81	367,200	143,640	288,907
		計	147	367,200	33,480	250,501
黒毛和種	スモール	♀	1	492,480	492,480	492,480
		♂	1	433,080	433,080	433,080
		計	2	492,480	433,080	462,780
	子牛	♀	0			
		♂	4	608,040	542,160	564,840
		計	4	608,040	542,160	564,840
	3歳以上	♀	1	259,200	259,200	259,200
		計	1	259,200	259,200	259,200

お知らせ

平成31年度の肉用子牛の保証基準価格の改定について

肉用子牛の保証基準価格と合理化目標価格

【保証基準価格】1頭当たり	平成30年度(発効日前)	平成30年度(発効日以後)
黒毛和種	34万1000円	→ 53万1000円
褐毛和種	31万1000円	→ 48万9000円
その他肉専用種	22万2000円	→ 31万4000円
乳用種	14万1000円	→ 16万1000円
交雑種	21万6000円	→ 26万9000円
【合理化目標価格】1頭当たり		
黒毛和種	28万4000円	→ 42万1000円
褐毛和種	26万1000円	→ 38万8000円
その他肉専用種	15万1000円	→ 24万9000円
乳用種	9万8000円	→ 10万8000円
交雑種	15万8000円	→ 21万2000円

平成31年 2 月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
6	一般子豚	34	16,632	16,524	16,559	50
	ベビー豚	176	17,712	15,120	16,109	35
20	一般子豚	28	19,548	18,900	19,193	50
	ベビー豚	166	18,792	14,256	17,734	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	69	845,640	438,480	649,925	288	2,258
		♂	100	1,169,640	484,920	825,098	314	2,627
		計	169	1,169,640	438,480	753,578	303	2,484
	経産		10	540,000	194,400	338,796	—	—
F1	F1	♀	0					
		♂	0					
		計	0					

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
	入場頭数								
	成立頭数								
	最高(円)								
	最低(円)								
	平均(円)								

開催なし

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀						
		♂						
		計						

開催なし

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日 牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)							屠畜頭数
畜種	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	12,624.0	78.8	483	486	460	417	324	440	25,111	706.0
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A 138	190	441.0	2,842	2,565	2,205	1,404	864	2,311	
	B 32			2,572	2,333	1,609	1,146	839		
	C 20			—	—	—	835	630		
乳牛	A —	163	326.6	—	—	—	—	—	575	
	B 3			—	—	—	764	—		
	C 160			—	—	1,028	624	504		
交雑牛	A 26	100	515.2	—	1,786	1,667	1,111	—	1,611	
	B 65			—	1,743	1,642	1,444	—		
	C 9			—	—	1,436	1,079	—		

開催日			5, 9, 15, 19, 25			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	5	230,040	7,560	65,664
		♂	103	185,760	1,080	118,748
		計	108	230,040	1,080	116,290
F1	スモール	♀	67	285,120	64,800	227,090
		♂	73	367,200	140,400	303,391
		計	140	367,200	64,800	266,876
	子牛	♀	3	322,920	217,080	263,520
黒毛和種	スモール	♀	0			
		♂	0			
		計	3	322,920	217,080	263,520
	子牛	♀	0			
		♂	0			
		計	3	322,920	217,080	263,520
	1歳	♀	2	486,000	212,760	349,380
		♂	3	540,000	383,400	437,760
		計	5	540,000	212,760	402,408
	子牛	♀	3	718,200	453,600	552,600
		♂	2	621,000	545,400	583,200
		計	5	718,200	453,600	564,840
	1歳	♀	1	486,000	486,000	486,000
		計	1	486,000	486,000	486,000

牛マルキン発動状況

期	支払方式	肉専用種	交雑種	乳用種
平成30年12月	確定単価	—	—	39,700
平成30年11月	確定単価	—	—	33,400
	概算払単価	—	—	30,300
平成30年10月	確定単価	—	25,200	33,700
	概算払単価	—	21,700	30,300

(注)

平成26年4月期の補填金交付から、四半期の最終月以外については、補填金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをすることになりました。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、平成26年4月から消費税抜きで算定されています。

○茨城県において補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、補填金単価を減額することがあります。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

平成30年度茨城県自給飼料コンクール表彰式開催される

(公社) 茨城県畜産協会

平成31年1月21日、茨城県農業総合センター（笠間市安居）で、平成30年度茨城県自給飼料コンクールの表彰式が行われました。

本コンクールは、自給飼料の生産において県内の優秀な事例を選定し、これを広く紹介することにより自給飼料基盤の重要性を啓発し、県内の自給飼料生産を推進することを目的に開催されました。

本年度はトウモロコシサイレージを対象に募集し、官能評価審査会、県自給飼料分析センターでの成分分析を経て、12月20日の総合審査会において、県内の酪農家から申込みのあった合計9点の中から最優秀賞（県知事賞）1点、優秀賞（県議会議長賞）1点、優良賞（県畜産センター長賞）2点の受賞を決定しました。

受賞者及び選定内容は、以下のとおりです。

☆最優秀賞（県知事賞）：石岡鈴木牧場

官能評価が各項目で高く、また生産技術では新たに条間を耕起する除草方法を導入し、経営面では生産者の顔が見えるヨーグルト販売を軌道に乗せました。さらに、昨年から低温殺菌牛乳の販売を開始し、また加工体験工房を開き消費者との交流に力を入れるなど、自給飼料にこだわった家族経営と六次産業を組み合わせ、全国的にみても希有な成功事例として高く評価されました。



☆優秀賞（茨城県議会議長賞）：遠峰 政幸氏

成分分析結果で特に優れ、経営内容においては後継者就農をきっかけに高品質化が図れる細断型ロールベールサイレージに切り替え自給飼料生産の拡大を進め、また普及センターと連携し良質堆肥の生産等についても取り組んでいることが評価されました。

☆優良賞（茨城県畜産センター長賞）：木名瀬幸吉氏

☆優良賞（茨城県畜産センター長賞）：関口 昇一氏

審査において甲乙つけがたい優良な取組が出品されたため、2点選出されました。木名瀬さんですが、後継者を含めた家族経営の中で高品質サイレージ生産だけでなく、後継牛の自家育成による確保など、持続性のある経営が評価されました。

関口さんは、細断型ロールベラーの導入による自給飼料生産の拡大や放牧、さらには受精卵を活用した酪農と繁殖と牛の複合経営が評価されました。

わたしたちは人と動物の
「これから」を真剣に考えています



森久保薬品株式会社 茨城事業部

下妻市亀崎4011-1 TEL/0296-43-1661

FAX/0296-43-6509 フリーアクセスFAX/0120-436-509

<http://www.morikubo.co.jp>

<http://www.haccp.jp>



奥久慈
しゃも
奥久慈しゃも生産組合

〒319-3523 茨城県久慈郡大子町袋田3723
TEL / 0295-72-4250
FAX / 0295-72-2944

県内唯一の食肉地方卸売市場
株式会社 茨城県中央食肉公社

代表取締役社長 小野 寺 俊

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975

TEL / 029 (292) 6811 (代)

FAX / 029 (292) 6895

H P / <http://ibaraki-kousha.co.jp/>

市場開催日 { 豚枝肉 (日曜・祭日等を除く毎日)
牛枝肉 (毎週月・木曜日)

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL / 029 (231) 7501 FAX / 029 (222) 2032

○当協会に対する意見・要望

Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp

○本紙への掲載「催事・各種情報」

Eメール chikusan@ibachiku.com

○ホームページ

<http://ibaraki.lin.gr.jp>